

当社(ダイヤ工業)の経営理念は「わが社は顧客のニーズに応える医療用品の提供を通じて社会に貢献する」というものだ。考え方も信条も異なるさまざまな人が集まる組織では、組織の目的や理念を明示しなければ何事もうまくいかないだろう。その意味では、町内会や消防団、マンションの管理組合などにも理念的なものが無いよりはあった方がいいだろうし、家庭に理念があってもいい。問題はその共有と浸透だが、それこそがリーダーの役割だ。

私が代表理事を務める岡山県中小企業家同友会にも理念がある。「よい会社を目指そう」「よい経営者になろう」「よい経営環境をつくらう」という三つの目的は、その一部をわかりやすく言い換えた言葉だが、自社の健全な発展を願う経営者なら誰しも共感できることと思う。「よい会社」とは理念が明確で顧客や取引先からの信頼が厚く、社員が誇りを持って働

岡山県中小企業家同友会代表理事 松尾 正男

一 日 一 題

中小企業家同友会の理念

いている。そしてどんな経営環境の変化に直面しても雇用を守り、永続的に利益を出し続ける企業。「よい経営者」とは自社の経営理念を確立し、その実践と謙虚に学ぶ姿勢を通じて自身に磨きをかけ、次代を切りひらく総合的な能力を身につけた経営者。そして、それらの経営努力が公正に報われ、企業と地域が共に発展できる「よい経営環境」の実現を目指しているのが中小企業家同友会だ。

会員企業は業種も規模もさまざまだが、いずれもこの三つの目的のために「自主・民主・連帯」の精神で手を携え、「国民や地域と共に歩む中小企業」を合言葉に豊かな地域社会の実現を目指している。中小企業家同友会は47都道府県全てにあるが、その理念は共通している。おかげで県外の会員経営者と初めて会っても、すぐに打ち解けて本音で語り合える。組織の理念とは、そういうものだ。